

チャレンジ精神が楽しさのカギ



「楽器はちょっと勇気があればだれでも演奏出来るようになるはず!」と語る生稲さん

楽団四季「Jolly forest Jazz orchestra」

おいね
生稲 涼さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ
No.28

生稲さんが黄金色に輝きゆつくりと秋がやってくる。読書の秋、芸術の秋・・・みの〜れにもたくさんの芸術で賑わっている。生稲さんは山梨県の航空学校に入學したときにマーチング部に入部。バリトンサクスを担当し専門学校まで続けた。しかし、バリトンサクスは8キロもあり長年演奏を続けたため首を痛めてしまった。今、バリトンサクスからトランペットに転向し練習を続けている。スポーツマンであり、楽器をこよなく愛する生稲さん取材する。

向上心が情熱の源

生稲さんは楽団四季「ジョリフォレストジャズオーケストラ」(通称ジョリフォレ)のメンバーの一人で、小美玉市四季文化館企画実行委員も務める。

ジョリフォレとの出会いは、今から約一年前。久々に楽器を演奏したくなり、ビッグバンドを探していたところ、知人の紹介でジョリフォレに入団した。「一見サクスは敷居は高い感じがするが一度飛び込んでしまえば気軽に演奏できる楽器。それに比べ、トランペットは本当に難しい楽器だと落ち込むこともある」と生稲さん。「金管楽器は3日さぼったら元に戻る」と自分自身に言い聞かせ、毎日最低でも1時間以上は練習しているという。

現在生稲さんは、更なる演奏技術の向上を目指して、みの〜れが企画する「楽器プレイヤー育成講座」に参加している。初めて楽器に触れる人、ブランクのある人を対象に一流の先生を迎えワークショップを開催している。10月29日から11月8日にかけて行われる第4回小美玉市民文化祭ではワークショップの成果を発表する機会もあり今からが楽しみだ。

また、12月20日には「いばらきビッグバンドジャズフェスティバル」がみの〜れで開催されるなどジョリフォレメンバーとしての活動もより一層忙しくなる。

非見に来てください」と話す。生稲さんは楽器の他にも色々な趣味をもっていて、サーフィン・サッカー・スイミング・野球と多彩だ。中でも剣道は4段の腕前で水戸市の剣友会等で活躍している。また、手先の器用な生稲さんは県内にあるサーキットなどで行われているモータースポーツに出場するために友人とともに車の改造をすることも楽しみの一つだ。

「週2回のジョリフォレの練習に楽器プレイヤー育成講座。そして、自主練と今必死に練習しています。」と生稲さん。ジョリフォレでは、毎月1回公開練習も行っており、「一般の方でも見ることが出来るので是

この秋もみの〜れでは11月は市民文化祭、12月にはジャズフェスト、芸術の秋“にならではの祭典が目白押しだ。生稲さんは「一人でも多くの方に来ていただき、皆さんの期待に応えられるように頑張りたい」とこれから出演するステージへの熱意を語っていた。

(藤田佐知子)